

#### 4. 長者穴付近(飯室山北地区)

2005年3月から3回作業をした。アズマネザサやアオキを切った。展望台下に放置自転車がかった。集めたごみは展望台付近に置き公園事務所に処理してもらった。この時は明るい雰囲気になった。勉強会で国土舘大学の磯谷先生に「アオキがないのが不思議だ」と言われた。「切りました。」と説明した。その後数年たち、完全に藪に戻ってしまった。アオキも復活していた。

2009年9月植生管理協議会市民部会で飯室山北地区の管理計画が決まった。下部は北部公園事務所が担当し、上部を当会が担当する。常緑のアオキやヒサカキが見通しを悪くしている。まず笹とアオキを切り



作業開始前の状態

つつじ以外の低木、シュロ、ヤツデもすべて切るようになった。

2010年1月から笹やアオキシュロを切り始めた。3年おきくらいに下草刈りと言う事になっていたが、一年たつとアズマネザサは1m以上に伸びていた。毎年冬にアズマネザサやアオキなどを切るようになった。

2011年からはヌルデ等のパイオニア植物も切っている。飯室山展望台からの展望を確保するためである。杣形山の展望が成長したケヤキにや桜で損なわれている。ここ展望を妨げているのはカメガシワなどで、伸びると除伐する。



展望台下は初めて切る。アズマネザサは3m近い。



昨年も切った場所はこのくらい。作業は格段に楽であるが、日当たりのよい上部は1.5m程。



作業前



作業後

明るい散策路になり、夏はヤマユリが咲く。キツネノカミソリの大群落も出現した。秋はツクバトリカブトも咲く。この作業をして、里山は管理し続けなければならないと実感している。咲く山草も増えて来ている。実生の常緑も小さいうちに除伐すれば楽。飯室山展望台付近にもオカラノヲの大群落が出る。作業して良かったと思える。ただツクバトリカブトはハバチの類に葉を食べられ花数がすくないのが残念。



キツネノカミソリ



ツクバトリカブト

## 5. つつじ山

私はつつじ山と言う看板が笹の中に埋もれ、笹の中にツツジがチラホラ咲いている状態の記憶が在る。まず繁茂する笹を切り、ツツジを藪から出す作業をした。ツツジが咲くようになった。毎年花後剪定をしてきた。ツツジは成長し、園路に伸び見通しも悪い状態になってしまった。

2008年5月 植生管理協議会に北部公園事務所から、トイレを改築し、新たに植栽する案がだされた。

2008年8月 高木サルズベリ、ハナモモ、ヤマボウシ、ナツツバキ、低木クルメツツジ、リュウキュウツツジ等の植栽計画が公園事務所から出された。

2008年9月から～2009年1月までツツジの強剪定を実地。

2009年春トイレが改修され汲み取り式から水洗になった。また高木4本、低木多数の植栽が実施された。アゼリアなどのつつじ、シクナゲも植えられた。

2009年5月つつじ山のゾーニングの市民部会が行われた。つつじ山をA地区、B地区 C地区に分け今後管理してゆく。A地区は年に数回草刈りを行い、人が自由に歩ける草地。B地区は野鳥が集まる草地 C地区は野鳥が実を隠せる笹の背が高い草地。ヤマグワ、オオブタクサ、セイタカアワダチソウは除伐。

2009年6月～7月下草刈り。新たに植えられたツツジは鮮やかに咲き、強剪定したツツジは咲かない。公園事務所が広い部分を刈り払い機で刈り、育てる会がツツジの下草を手刈りした。

9月にも同様の作業。夏の間には草は伸びてしまう。2009年 まごころ記念ベンチ 設置

2010年6月ツツジの下草刈り。ツツジは密植されすぎて、刈りにくい。強剪定したオオムラサキも咲いた。桜の下などの日当たりが悪い場所のツツジは咲かない。しだれ桜の下のオオムラサキも咲かない。

2010年9月ツツジの下草刈り。

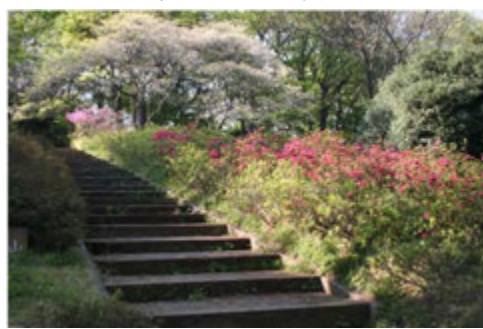
2011年5月、2009年に植栽された高木の添え木を外した。徒長枝切りなど、ツツジの花後剪定。



2009年1月強剪定したつつじ山



2010年4月24日強剪定したつつじ



2011年4月25日・強剪定したツツジ



強剪定する前は、花の見どころとなっていた。再び見どころと言える状態を取り戻してきている。背を低く保つための手入れが欠かせない。会として好ましい状態を保つように、道路公園センターと協力してゆきたい。下草刈り、剪定、実生の木の除伐、ヤマクワ、オオブタクサ等の除去。粘り強く続けてゆくつもりである。